

2026 年度認知神経リハビリテーション・アドバンス（行為間比較）プログラム

< オンライン・1 日開催 >

08:40-09:00：受付

09:00-09:10 (10)：オープニング（オリエンテーション、コースの位置付け、プログラム構成など）

09:10-09:55 (45)：講義① 行為間比較とはなにか（園田）

1. 行為として観察する視点
2. 行為の全体性／複合性／拡張性
3. 行為の記憶／予測／比較

10:00-10:45 (45)：講義② 行為間比較の神経科学< 1 >（安藤）

1. 行為する身体の神経基盤
2. 多感覚統合と行為イメージ
3. 非局在性システムとしての脳

10:55-11:40 (45)：講義③ 行為間比較の神経科学< 2 >（安藤）

1. 行為の予測／期待／内部モデル
2. 自由エネルギー原理と能動的推論
3. 予測誤差を最小化する行為へのリフレーミング

11:45-12:30 (45)：講義④ 「比較」の用法（濱田）

1. 臨床の各場面における比較の目的
2. 比較の種類と問い方（類似と差異）
3. 比較による病態の仮説立て

12:30-13:15：昼休憩

13:15-14:00 (45)：講義⑤ 行為間比較のプロトコル（平谷）

1. 観察－訓練－最終評価の流れ
2. 観察から改善対象の行為の選択まで
3. 行為の比較と自覚

14:05-14:50 (45)：講義⑥ 行為イメージ間の比較（濱田）

1. 文脈の中にある行為の経験の想起
2. 比較を通じた構造的／意味的類似と差異の探索
3. 訓練課題の名称／テーマ／内容の選択

15:00-15:45 (45)：講義⑦ 改善された行為の統合と拡張（平谷）

1. 訓練と現実の行為間の関連性と統合
2. 改善対象とした行為の三人称観察
3. 現実の異なる状況や文脈への拡張

15:50-16:20 (30)：講義／実技⑧ 手／両手の行為に対する訓練課題の紹介と解説（園田／平谷／濱田）

16:20-16:50 (30)：講義／実技⑨ 足／両足の行為に対する訓練課題の紹介と解説（園田／平谷／濱田）

17:00-17:20 (20)：講義⑩ 行為間比較と能動的推論（園田／安藤）

1. 錐体路の機能はなにか
2. 予測／比較する脳とサンプリングとしての行為
3. 未来の行為をシミュレーションする機能の回復を図る

17:20-17:30：質疑応答／エンディング（終了のあいさつ、その他の事業について）